

環境のひろば

212号

発行者 / 岡山県環境衛生協会
会長 笠原金剛

題字 / 岡山県知事 伊原木 隆太

ふるさとを
きれいに
しましょう

この広報誌は“ふるさとをきれいに
する運動”を推進するために
配布しております。



岡山市
支部

第16回おかやまりサイクル 工作コンクール

岡山市環境衛生連合協議会

当協議会では、小学生の夏休みの宿題を利用して、「おかやまりサイクル工作コンクール」を毎年開催しております。

これは、身の回りの不用品を利用した工作を通じて、子どもたちのものを大切にする心と新たにものを創り出す心を培い、環境を大切にする意識を高めるために実施するもので、今年度で16回目を迎えました。

提出作品数は、平成27年度3,924点、28年度4,574点、29年度4,723点と年々増加しており、うれしい悲鳴を上げております。

本年度も優秀作品48作品を選出し、12月1日(金)、4日(月)に岡山市役所1F市民ホールにて展示を行いました。市役所を訪れた多くの市民の方々が児童の作品に見入り、優秀作品に選ばれた児童が、作品と一緒に記念写真を撮影していました。

また、今年度も「地球環境問題ポスターコンクール作品展」を同時に開催することにより、身近にある環境問題を考えるきっかけになったのではないかと思います。

支部だより

真庭
支部

レジ袋削減 ～「-1」の意識～

真庭市久世地区環境衛生協議会

当協議会では、ごみの減量化、地球温暖化防止を目的とし、毎月10日の岡山県統一ノーレジ袋デーにあわせて、毎年6月と11月の2回、マイバッグ運動を実施しております。

これは、環境団体等と行政が協働し、買い物の際にレジ袋をもらわないための「マイバッグ持参」の呼びかけを行うものです。本年6月には、市内の店舗において、買い物客に啓発グッズ等を配布し、「お買い物の際にはマイバッグを！」と呼びかけ、マイバッグの普及啓発を図りました。さまざまな啓発活動により「マイバッグ」という言葉が普及したのか、最近では、マイバッグを持参し、買い物をされる方が多くなったように思います。

生活の中で急にレジ袋を「0」にするのは難しいかもしれません。みなさんが、今までもらって

いたレジ袋を1枚でも減らそうという、「-1」の意識が持てるよう、今後もマイバッグ運動を継続していくとともに、ごみの減量化・環境美化活動に努めていきたいと思っております。

倉敷市
支部^{ゼロ} 全市一斉ごみ0キャンペーン

倉敷市環境衛生協議会

倉敷市環境衛生協議会では、昭和57年から毎年9月第1日曜日を「清掃祭日」と設定し、全市一斉で清掃美化活動を行うことで、美しく快適な生活環境づくりを目指しています。

今年度は9月3日(日)午前7時から約2時間、「捨てない、捨てさせない、だれも捨てない！」の“3ない運動”をスローガンに、36,338人の参加者が道路沿いなどにポイ捨てされたペットボトルやたばこの吸い殻などを回収して、指定の集積場所に持ち寄りました。この日集まったごみは行政が収集し、資源化・処分されました。

ポイ捨てごみは以前と比べて少なくなりました。今後も「美しいまち倉敷」を目指して活動していきたいと思っております。

平成29年度実績

空き缶	51,109本 (前回 68,298本)
空き瓶	10,019本 (前回 13,399本)
ペットボトル	11,699本 (前回 10,761本)
燃やせるごみ	4,497袋 (前回 4,374袋)



津山
支部

環境美化活動の推進について

美咲町環境衛生協議会

美咲町環境衛生協議会では、きめ細やかな不法投棄防止監視パトロールや、毎年11月第1日曜日を統一行動日と定め、町内一斉クリーン作戦を行っています。

しかし、道沿いの待避所には大量のごみがポイ捨てされており、また、人目のつかない場所には、テレビ、冷蔵庫、大型家具や自動車のタイヤなどの処理困難物が数多く不法投棄されています。不法投棄禁止の看板等を設置しても、心ない人たちは、あろうことか看板設置場所にポイ捨てをしています。

現状をこのまま見過ごせば、どんどん不法投棄ごみが増えていくと考えられるため、今年度は、岡山県、岡山県産業廃棄物協会津山支部会員及び美

咲町などと連携して、11月に大規模なクリーン作戦を行いました。

この事業で、大量の不法投棄ごみが回収でき、大変有意義なものとなりました。ご協力していただいた皆様には、大変感謝しております。

これからも不法投棄のない町、美咲町を目指して環境美化活動に取り組んでいきたいと思ひます。

勝英
支部美作ブロック環境衛生民間
指導者研修会を開催！

奈義町環境衛生協議会

平成29年11月24日(金)、美作市の湯郷地域交流センターにて、平成29年度環境衛生民間指導者研修会が開催され、津山・真庭・勝英地域の環境衛生関係者が一堂に会しました。

まず、表彰の部として、環境衛生関係岡山県美作県民局長表彰が行われ、その活動に多大な功績のあった2つの団体と10の方が受賞されました。

次に、研修の部では「身近な環境問題、私たちができること」と題して、地球環境を守ることは生命(いのち)を守ることを基本理念に、子どもたちの生命を健全に育てるための提案と地域づくりの活動を行っている環境カウンセラーの佐々木裕子さんが講演をされました。続いて、株式会社マルイの鈴木豪さんが、マルイ環境活動、エコア

クション21の取組、食品廃棄物削減と再利用について発表されました。いずれも出席者全員が熱心に聞き入っていました。

奈義町環境衛生協議会としましても、今回の講演等を参考として、地域と連携した環境衛生改善活動に取り組んで参りたいと思っております。



循環と共生

4 R と 3 キリ運動の推進

笠岡市環境衛生協議会

笠岡市では3 Rならぬ、4 Rを推進しています。4 Rは「ごみになるものを貰わない・使わない」(リフューズ)、「ごみを減らす」(リデュース)、「何度でも使う」(リユース)、「再資源化する」(リサイクル)です。

リフューズとは「マイバッグ運動」などが該当します。この4 R、なかなか内容を覚えられず、未だに資料にあたらないと紹介が出来ません。「リユース」が再利用、フリーマーケットなどの活用、「リサイクル」が分別収集の推進と覚えてきて、「リデュース」で詰まってしまう。

「リデュース(ごみを減らす)」は生ごみ減量などの取組です。生ごみ減量には3 キリ運動を進めています。食材を使い切り、余分な食材を買わない。食べきれだけの料理を作り、食べきりましょう。どうしても発生する生ごみは、水分たっぷり、

衛生的、質量的、焼却にかかるエネルギー的にもマイナスですね。そこでごみ出し前の水キリ。

これらの運動を実践されている人も多いのですが、声が届かない方達がいらっしゃるのも現実。そんな方達に声を届けることの難しさを日々感じています。そんなときにも環境衛生協議会のみんなと活動、広報を頑張っており、メンバーのみんなには感謝しています。

環境衛生問題への取組はまちづくり、人づくりにつながる道と感じています。

最後に、読んでくださった皆さんに一言。

4 Rを実践して循環型社会を構築しましょう。ごみ減量は焼却量、埋立て量の削減につながります。ごみを減らして社会インフラを大切に使いましょう。地球温暖化対策にもなりますよ。



災害時のごみはどうするの？

全国では、豪雨や地震などにより大量の災害ごみが発生し、その処理が問題となった事例があります。

災害ごみを片付ける際、可燃ごみ、不燃ごみ、金属類などを混合すると、ごみ処理施設で処理できません。

災害時は、お住まいの市町村の指示に従い、分別を行ってごみを出すようお願いします。

×：悪い例



発災後十分な仮置場が確保できず、自然発生的にごみが公園に混合状態で置かれ始めている様子。

○：良い例

自治体管理の仮置場に分別されて適切に保管されている災害廃棄物



出典：環境省ホームページ

環境豆知識

ごみ減量化と地球温暖化防止に向けた 和気町の3つの取組

和気町環境衛生指導員協議会

和気町では、ごみの減量化や二酸化炭素（CO₂）の削減のために次の取組を行っています。

① 生ごみの分別収集

平成26年度から、町内全域を対象に生ごみの分別収集を行っています。町内約440箇所にある集積所内に生ごみ専用の容器を設置し、集まった生ごみを収集し、堆肥にして、住民に配布しています。

② プラスチック製容器包装の分別収集

平成23年度から町内全域でプラスチック製容器包装の分別収集を行っています。

③ レジ袋の無料配布中止（レジ袋の有料化）

平成21年度からレジ袋の無料配布中止（レジ袋の有料化）を行っています。

これらの取組によって、平成28年度に削減されたCO₂は、約1,380 tでした。

これらは、和気町での取組ですが、皆様のお住まいの地域ではどのような取組をされているでしょうか。決められた分別をきちんと行うなど、一人ひとりの意識が大切だと思っています。



みんなで進めよう！

「おかやま30・10運動」♪

食べられるのに捨てられてしまう食品、いわゆる「食品ロス」は、日本全国で年間621万トン（平成26年度推計）と言われています。

岡山県では、食品ロス削減に向けて、「おかやま30・10（さんまる・いちまる）運動」を推進しています。「30・10運動」とは、会食時の最初の30分と最後の10分間は自分の席で料理をいただくという取組です。美味しく楽しみながら、皆さんで声をかけ合って「30・10運動」を実践していただくようお願いします。

また、会食時だけではなく、家庭でも、冷蔵庫の中を確認してから買い物をする、食材を無駄なく使うなど、少しの工夫で食品ロスを減らすことができます。

「もったいない」という気持ちを大切に、一人ひとりができることから始めてみましょう！



©岡山県 ももっち・うらっち

協会活動の紹介

各専門委員会の活動報告

環境保全委員会

■ 平成 29 年度役員研修会

- 日 時 平成29年11月15日(水) 10:00~17:00
- 研修内容 「和気町におけるレジ袋削減、生ごみ堆肥化の取組について」
- 参加者 協会役員 21名

和気町では、事業者・消費者団体・行政が協定を締結し、平成21年度からレジ袋の無料配布を中止とし、レジ袋の削減に取り組んでいます。(取組内容は、本号5ページ「環境豆知識」を参照)

今年度役員研修会では、こうした取組について、和気町生活環境課の方の講演をはじめ、町内量販店の見学、生ごみを堆肥化する施設の見学などを行うことで、和気町での積極的な取組を学ぶことができました。

今回も多くの役員が参加し、大変有意義な研修会となりました。本研修会により、それぞれの地域における環境保全活動がさらに充実したものとなることを期待しております。



和気町の取組についての講演



生ごみ堆肥化施設見学

環境保全委員

委員長 森安 創 副委員長 久山 雅夫
委員 濱田 久子、松本 正志、石井 悦子、出口 祥三、手塚 幸恵、水島 衛

リサイクル推進委員会

■ マイバッグ普及啓発活動

- 日 時 平成29年10月~平成30年2月
- 場 所 県内16カ所(岡山市(4カ所)、倉敷市(2カ所)、備前市、井原市、笠岡市、総社市、高梁市、新見市、真庭市、早島町、鏡野町、勝央町)
- 参加者 約100名

岡山県では、毎月10日を「ノーレジ袋デー」と定めて、買い物の際にレジ袋をもらわない「マイバッグ持参」の取組を行っています。リサイクル推進委員会では、今年度も各地域のスーパーやイベント会場でマイバッグの配布を行いました。この取組が、多くの方にとって、循環型社会の形成をはじめとした環境問題を考えるきっかけとなることを願っています。



リサイクル推進委員

委員長 小椋 邦子 副委員長 横田 徹
委員 熊代 勉、今中 慶一、守長 君子、野田 健一、平川 二美子

民間指導者研修会

当協会では、毎年県内3カ所で「民間指導者研修会」を開催しています。

環境保全や美化活動等に関する講演や各地域での活動事例の発表等を行い、環境衛生に関する専門知識を広めるとともに、参加者同士の情報交換の場となっています。今年度も各地区の環境衛生団体の役員等が多数参加しました。

研修会に先立ち、環境衛生改善活動に多大な功績のあった団体、個人に対する岡山県各県民局長表彰と当協会賛助会員表彰の表彰式を行いました。



■ 研修会の主な内容

- ◎ 備前ブロック 10月18日(水) (開催地：岡山市)
講演：豊かな島を再び ～産廃と闘った香川県豊島～
- ◎ 備中ブロック 10月4日(水) (開催地：新見市)
講演：岡山県内にひっそりと生きている小さな生き物たち
- ◎ 美作ブロック 11月24日(金) (開催地：美作市)
講演：身近な環境問題、私たちができること
事例発表：エコアクション21の取り組み
～食品廃棄物削減と再利用～

環境大臣表彰受賞者のご報告

平成29年10月18日(水)～20日(金)四日市市文化会館で開催された、第61回生活と環境全国大会の中で、環境大臣表彰(生活環境改善模範地区及び生活環境改善功労者)として県内の団体及び個人が表彰されました。

■ 生活環境改善模範地区(団体)

ねずみ、衛生害虫等の防除及び清掃等、地域の環境美化その他生活環境の改善を積極的に推進して顕著な成果を上げている地区に対して授与するもの。

- 津高町内会(岡山市)

■ 生活環境改善功労者(個人)

ねずみ、衛生害虫等の防除及び清掃等生活環境改善行政に対する協力又は地域の環境美化等に顕著な功績があった者に対して授与するもの。

- 花房 明夫(岡山市財田学区環境衛生協議会)
- 長尾 秀(倉敷市環境衛生協議会倉敷地区協議会)
- 武政 三郎(倉敷市環境衛生協議会倉敷地区協議会)

■ 新規賛助会員のご紹介

新たにご入会いただいた賛助会員は次のとおりです。

有限会社 ムロタ設備工業 様 (岡山市)

誠にありがとうございます。末永くご支援賜りますようお願いいたします。

新規賛助会員の募集

当協会の活動は、賛助会員の皆様による支援金により成り立っています。

地域に根ざした活動を継続するため、当協会では、ご支援いただける個人・団体を募集しています。地域における清掃活動や不法投棄防止運動、マイバッグ普及啓発活動等への支援をお願いします。

101万2千円で、10から入会できます。

機関誌に関するお問い合わせ

機関誌「環境のひろば」に関するお問い合わせ等は次の住所・電話番号へお願いします。

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
岡山県環境衛生協会事務局
TEL:086-226-7307

提言箱

生ごみの水切りの実証実験 ～ごみの減量化に向けて～

高梁市環境衛生協議会

高梁市は、人口が減少している一方で、家庭から出るごみの総量は横ばい状態が続いていることから、ごみの減量化は喫緊の課題となっています。

そのため、当協議会では、これまでもマイバッグ運動やパネル展などの啓発活動を実施し、ごみの減量化に取り組んでいるところです。

皆さんご承知のとおり、生ごみの約8割が水分と言われており、生ごみの水切りはごみの減量に大変有効です。そこで、今年度は新たな取組として、生ごみの水切りの実証実験を行いました。8月の1か月間、水切りをする前後の重量を実際に計量し、その集計結果を市の広報紙に掲載することで、市民の

皆さんに広くお知らせしました。

生ごみの水切り自体は、小さなことかもしれませんが、一人ひとりが、地道に積み重ねていくことで、大きな成果につながっていくものと考えており、今後も引き続きこのような啓発活動に取り組んでいきたいと思っています。



水切り器具を用いた水切りの様子

	重量 (g)
水切り前	251,548
水切り後	229,652

(実施世帯数：20 世帯)

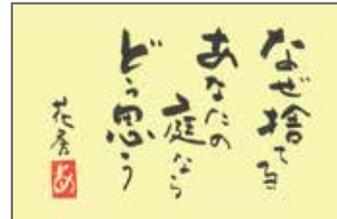
21,896g(8.7%)の減量!

編集後記

廃棄物輸入国世界一の中国が、再生処理の過程で起こる環境汚染を防ぐことを目的として昨年の12月の末に廃棄物の輸入を一部禁止しました。我が国からは、廃プラ・ペットボトル・古紙等が輸出されており、ごみの削減は欠かせないことだと改めて感じました。

不法投棄など環境問題は山積みですが、世相に応じた活動を継続したいと思っています。

先日、環境問題に携わる方から一句いただきました。



広報委員 福井孝子



広報委員

- 委員長 杉 秀樹 副委員長 福井 孝子
 委員 二宮万太郎 五島 榮二 山本 光夫 高木 早苗 澤山 祥子

地域環境の保全・創造に
 貢献する地域で
 最も必要とされる組織へ

公益財団法人
岡山県環境保全事業団

〒701-0212 岡山市南区内尾 665-1
 TEL (086) 298-2122 (代)
 FAX (086) 298-2496

厚生労働大臣登録水質検査機関
 厚生労働大臣登録食品検査機関
 厚生労働大臣登録簡易専用水道検査機関
 岡山県知事指定浄化槽検査機関

公益財団法人
岡山県健康づくり財団

〒700-0952 岡山市北区平田 408-1
 TEL (086) 246-6257 (代)
 FAX (086) 246-6258
 北部オフィス 〒707-0004 美作市入田 291-2
 TEL (0868) 75-3151
 FAX (0868) 75-3153

“生活排水の処理は浄化槽で”

一般社団法人
岡山県浄化槽団体協議会

会 長 八 田 富 夫
 副 会 長 木 村 俊 介
 常 務 理 事 梶 英 正

〒703-8282 岡山市中区平井 1097
 電 話 086-276-8585
 F A X 086-276-9081